

## 地理 B ① 授業指導計画

授業者 四宮 博樹

- 1 日 時 令和3年2月12日(金) 5限
- 2 実施場所 S4教室(南館4階)
- 3 H R 25HR理系(地理選択者)
- 1 生徒観 与えられた課題を暗記することは得意であるが、初見の地図やグラフの読み取りなど地理的思考を苦手とする生徒が多い。人口に関するグラフから読み取れることを明らかにしてデータの扱いについて本質的な理解を促したい。また、阿南市の人口を教材として扱うことで**地域課題を自らの課題として捉えさせたい。**
- 5 単 元 人口問題
- 2 本時の目標 ①グラフから読み取れることと読み取れないことを明らかにする。  
②「比較」「分類」「関連づけ」といった思考スキルを磨く  
③阿南市が抱える人口面での課題を知る。

### 7 本時の展開

	指 導 事 項	留 意 点
導入 (5分)	阿南市の人口ピラミッドと人口に関するいくつかの問いを提示する。	4グループ(3、4人)に分ける。
展開1 (10分)	阿南市が人口減少していると証明するにはどのようなグラフやデータが必要か考えさせる。	地形や交通など既習の知識との関連に言及し、多様な考えを引き出す。
展開2 (15分)	説得力を持たせるためには、「比較」することや対照するデータを「分類」し、わかりやすく提示することが重要であることを理解させる。	
まとめ (20分)	人口に関するセンター試験の過去問を解き、既習の知識や実体験と「関連づける」ことの重要性を理解させる。	地形や交通など既習の知識との関連に言及し、多様な考えを引き出す。

## 地理 B ② 授業指導計画

授業者 村上 宜輝

- 1 日 時 令和3年2月12日(金) 5限
- 2 実施場所 24HR教室(南館3階)
- 3 H R 24HR
- 4 生徒観 地理Bを学び、生徒は与えられた問題によく取り組んでいるが、現在の世界の動きや、今後の課題について見抜くには至っていない。身近な地域の人口統計を分析することで地域の課題を見抜き、自らの問題として考える力がつくのではないかと考える。
- 5 単 元 人口問題
- 6 本時の目標 ①人口の推移とその課題、人口構成と人口転換の社会的・経済的背景を理解させる。  
②人口ピラミッドから地域の課題と将来像を考察する。
- 7 本時の展開

	指 導 事 項	留 意 点
導 入 (5分)	日本の人口増減について、提示する。	人口の増減に社会の変化があることに気づかせる。
展開1 (20分)	阿南市の人口増減のグラフから、変化の背景を考察させる。	平成の大合併は社会増であることを押さえる。
展開2 (20分)	阿南市の1980年から2045年(推計)の人口ピラミッドの変化から、人口転換の様子を読み解かせる。	20世紀後半からすでに少子化が始まっていることに気づかせる。
まとめ (5分)	2045年の社会を想像させるとともに、人口減少社会を自分がどう生きるか、どのような社会にしたいか、考察させる。	